



2022年5月24日

トヨタモビリティ東京株式会社

交通遺児等育成基金に150万円を寄付

トヨタモビリティ東京株式会社(社長 関島 誠一)は5月19日(木)、公益財団法人交通遺児等育成基金(小幡 政人会長)に150万円を寄付した。



< リモート寄付の様子 左:菅野専務理事、右:当社阿部取締役 >

当社は自動車販売に携わる企業の責務として“交通事故ゼロ”を目指し、交通安全の取り組みに力を注いでいる。その一環として、オリジナルのチャリティー活動「メンテナンスチャリティー」を2002年より行っている。これは車検・法定点検のご入庫1台につき3円を交通遺児等育成基金に寄付するというもの。

2021年度は車検・法定点検で約47万台のご入庫をいただき、150万円を浄財とした。同活動は今年で通算20回目となり、寄付金額は累計2,000万円を超えた。

寄付式はリモートで開催。当社からは取締役兼専務執行役員 阿部豊久が参加し、「当チャリティー活動が、交通事故のない社会の実現の一助になればうれしく思う。」と今回の取り組みを振り返った。また、公益財団法人交通遺児等育成基金の菅野孝一専務理事は「コロナ禍に加え昨今の物価上昇等により、基金事業は非常に厳しい状況であるため、20年という長い期間ご支援いただけて大変ありがたい。ご寄付は子どもたちのために有意義に使わせていただくと謝意を示した。

当社は今後も交通遺児の支援を継続するとともに、SDGs(持続可能な開発目標)17の目標の内、3『すべての人に健康と福祉を』達成に貢献する“交通事故撲滅活動”に取り組んでいく。

以上

トヨタ モビリティ東京株式会社

<https://www.toyota-mobi-tokyo.co.jp/>

ご取材の問い合わせ : 総務部 総務企画室 広報グループ 益原・能勢

TEL 03-5439-2430 FAX 03-5439-7633